



平成 29 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 檜 垣 周 作  
(コード：2538 東証第二部)  
問合せ先 執行役員 財務計画部長 杉 義 継  
(電話番号 06-7688-5900)

### **第三者割当による新株式発行並びに主要株主である筆頭株主の異動及びその他の関係会社となる主要株主の異動に関するお知らせ**

当社は、平成 29 年 7 月 14 日開催の取締役会において、以下のとおり、第三者割当による新株式発行(以下「本件第三者割当増資」といいます。)を決議しましたので、お知らせいたします。また、本件第三者割当増資に伴い、主要株主である筆頭株主の異動及びその他の関係会社となる主要株主の異動が見込まれますので、併せてお知らせいたします。

#### ・ 第三者割当による新株式発行について

##### 1. 募集の概要

(1) 払 込 期 日	平成 29 年 8 月 1 日
(2) 発 行 新 株 式 数	普通株式 42,553,200 株
(3) 発 行 価 額	1 株につき金 47 円
(4) 調 達 資 金 の 額	2,000,000,400 円
(5) 募 集 又 は 割 当 方 法 ( 割 当 予 定 先 )	第三者割当の方法により、株式会社アスレポート・ダイニングに普通株式 42,553,200 株を割り当てます。
(6) そ の 他	上記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とします。

##### 2. 募集の目的及び理由

当社グループは、当社と連結子会社 12 社及び持分法適用関連会社 3 社で構成されております。具体的には、当社は、グループ管理を行っており、盛田株式会社(以下「盛田」といいます。)や株式会社老田酒造店等は、醤油・調味料、清酒、漬物及び飲料等を製造・販売し、株式会社アルカンは、主にヨーロッパ等からフランス料理等の食材やワイン等を輸入・販売し、東洋商事株

式会社は、国内で食品、酒類及び資材等を取り扱う総合卸売業をしております。

当社グループは、中期経営計画（平成 28 年 9 月期～平成 30 年 9 月期）で「事業戦略」「人材戦略」「財務戦略」の 3 つの戦略を掲げ、総合食品アライアンス企業として外部提携・M & A も推進しつつ、消費者ニーズにあった商品を開拓・開発・アピールすることで、業界での存在感を確立させ事業基盤を強化するとともに収益性の向上を図っております。

株式会社アスラポート・ダイニング（以下「アスラポート・ダイニング」といいます。）は、焼肉、居酒屋等の外食フランチャイズを中心に全国で 713 店舗（平成 29 年 5 月 31 日現在）を展開しており、平成 25 年度より新たに「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ外食（販売）事業から流通及び生産事業への進出を果たし、多層的な付加価値を生み出すビジネスモデルの構築に取り組んでおります。そして、その目標を達成するための 4 つの戦略「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化への取り組み」を掲げ、更なる成長を目指しております。

当社とアスラポート・ダイニングとは、平成 27 年 6 月に業務資本提携契約を締結いたしました。両社は、国内における両社グループの事業基盤を活用した販路の拡大及び営業力の強化、両社グループの食品製造機能を活用した P B 商品及びオリジナル商品の共同開発、海外事業のための輸出入及び現地での展開に関する協業等を順次図っております。その後、平成 28 年 2 月に同社の代表取締役会長である檜垣周作が当社代表取締役社長に就任したことにより、両社のグループシナジーを更に推進しております。なお、平成 28 年 7 月に同社を割当先とした第三者割当増資を行い、同社は当社の主要株主となっております。また、平成 29 年 3 月には無担保転換社債型新株予約権付社債を同社に発行しております。詳しくは、「11. 最近 3 年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況（4）最近 3 年間のエクイティ・ファイナンスの状況」をご参照ください。

当社グループは、上記で述べました中期経営計画の「財務戦略」において、有利子負債の削減及び資本増強を掲げております。今後も引き続き有利子負債の削減に取り組むと同時に、自己資本を充実させ財務体質の強化を図ることは、事業戦略を着実に実施するために必要不可欠となります。そして「事業戦略」では、各社（アスラポート・ダイニンググループを含む）が有する顧客の共有化、取引深耕及び新規顧客開拓、海外・インバウンドを見据えた価値訴求、新商品開発、商品高付加価値化（加工度・利便性の高い商品）ニーズへの対応強化及びブランド認知度向上の 3 つの施策を掲げ、今後、盛田を中核とした食品類・酒類事業において、これらの施策を推進していくことで売上高の増加及び収益性の向上を見込んでおります。その中で、当社グループの事業の特性上、11 月～12 月に資金需要のピークを迎えるという季節変動要因（具体的には原材料等の仕入債務の支払いが先行し、売上債権の回収による入金が入金 1 月～3 月にずれ込む）のため現預金残高が一時的に減少いたします。また、新商品等による売上増加に対応するためにも、運転資金の十分な確保が必要となります。更に今後、盛田の安定的な収益基盤の確立及び持続的成長を実現させるためには、各工場への設備投資（修繕分を含む）が不可欠であります。盛田はこ

こ数年前まで必要最低限の設備投資に留まっておりましたが、平成 27 年 4 月 6 日を割当日とした第三者割当による第 2 回新株予約権の発行によって得られた資金(調達金額 886 百万円)により、各工場の維持・更新投資を中心に品質の向上、省力化・合理化、生産効率の向上、衛生環境やセキュリティの向上及び災害リスク対応のための設備投資を行ってまいりました。現時点におきましても、工場の設備はまだ十分とは言えない状況であり、今後も引き続き設備投資を行うことで、安心・信頼出来る工場として成長するとともに業績の向上にも繋げていく所存です。

当社は、当該施策の実行のために必要となる資金の調達方法について検討を行った結果、一定の希薄化は生じるものの、財務の健全性を確保しつつ、期間的な返済を前提としない直接金融による資金調達が当社にとっては望ましく、その中でも、割当先となる者が当社の株式を一括して引き受けたうえで払込みを実行することにより必要な資金を調達し、かつ、業務資本提携先であるアスラポート・ダイニングと関係性を深めることで事業シナジーを追求する第三者割当増資が当社にとって最善の資金調達方法であると判断するに至りました。

当社の財務戦略及び事業戦略につきましては、同社も賛同しており、また両社の関係性をより一層強化するため、本件第三者割当増資により当社グループの事業の安定的な運営を図るとともに、事業・業績の拡大、ひいては企業価値及び株主価値の向上に繋がるものと判断しております。

### 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

#### (1) 調達する資金の額

払込金額の総額	2,000,000,400 円
発行諸費用の概算額	12,200,000 円
差引手取概算額	1,987,800,400 円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の主な内訳は、登記費用 710 万円、弁護士費用 250 万円、新株券発行・上場費用 180 万円です。

#### (2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
借入金の返済 (注) 1.	400	平成 29 年 9 月～平成 30 年 3 月
原材料の調達 (注) 2.	400	平成 29 年 9 月～平成 29 年 12 月
工場の設備投資(修繕分を含む) (注) 3.	1,187	平成 29 年 10 月～平成 30 年 9 月
合計	1,987	

(注) 1. 当社グループの中期経営計画の「財務戦略」において、有利子負債の削減を掲げており、金融機関からの借入金の返済に充当いたします。借入金の返済の内訳は、平成 29 年 9 月に短期借入金 100 百万円、平成 29 年 10 月から平成 30 年 3 月までに短期借

入金 200 百万円、長期借入金 100 百万円で計画しております。

2. 当社の連結子会社である盛田は、中期経営計画の「事業戦略」において新規顧客開拓、新商品開発等の増収施策を掲げ売上増加を計画しており、また 11 月～12 月の最需要期に備えるため、製品の主原料である大豆、小麦等の原材料の購入代金に充当いたします。購入代金の内訳は、大豆 180 百万円、小麦 50 百万円、糖液 80 百万円、容器包装材料 90 百万円で計画しております。また、当社から盛田へ貸付することにより支払を実施いたします。
3. 盛田の安定的な収益基盤の確立及び持続的成長の実現に向けて、各工場の醤油・調味料、飲料、清酒等の食品類・酒類事業に関する生産設備等を充実させることは不可欠であり、設備投資 997 百万円及び修繕費用 190 百万円に充当いたします。各工場別の内訳は、小豆島工場 762 百万円(圧搾装置、脱塩装置、各製造装置の制御機器、タンク、包装機器、輸送容器の整備等)、小鈴谷工場 270 百万円(圧搾装置、充填機、各製造装置の制御機器、タンク、パレタイザーの整備等)、日光工場 70 百万円(各製造関連の制御機器、包装機器、建物の整備等)、徳島工場 50 百万円(ポンプ、包装機器、輸送容器、ユーティリティの整備等)、福井工場 35 百万円(包装機器、室内空調の整備等)で計画しております。また、当社から盛田へ貸付することにより支払を実施いたします。
4. 調達資金を実際に支出するまでは、銀行口座にて管理いたします。

#### 4. 資金使途の合理性に関する考え方

上記「2. 募集の目的及び理由」のとおり、今回調達する資金は当社の今後の経営基盤の構築や事業規模の拡大及び財務体質の強化に寄与するもので、かかる資金使途は既存株主の皆様のご利益向上に資するものと考えており、本件第三者割当増資の資金使途については合理性があるものと判断しております。

#### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	平成 29 年 7 月 14 日
(2) 契約締結日	平成 29 年 8 月 1 日(予定)
(3) 払込期日	平成 29 年 8 月 1 日(予定)

(注) 詳細は「12. 発行要項」をご参照ください。

#### 6. 発行条件等の合理性

##### (1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本件第三者割当増資の払込金額につきましては、当社の業績動向、財務状況、株価推移及び本件第三者割当増資に伴う希薄化率を考慮に入れ交渉及び協議の結果、本件第三者割当増資に関する

る取締役会決議の直前日(平成29年7月13日)の株式会社東京証券取引所第二部市場における当社株式の終値50円を基に47円(ディスカウント率6.00%)といたしました。

なお、当該発行価額は、取締役会決議の直前日までの直近1ヶ月(平成29年6月14日から平成29年7月13日まで)の終値平均44円(円未満切捨て)からは6.82%のプレミアム率(小数点第3位以下四捨五入)、直近3ヶ月(平成29年4月14日から平成29年7月13日まで)の終値平均44円(円未満切捨て)からは6.82%のプレミアム率(小数点第3位以下四捨五入)、直近6ヶ月(平成29年1月13日から平成29年7月13日)の終値平均44円(円未満切捨て)からは6.82%のプレミアム率(小数点第3位以下四捨五入)となっており、日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に照らしても、会社法第199条第3項に規定されている特に有利な金額には該当しないものと判断しております。

当社は、当社の代表取締役社長である檜垣周作が割当予定先であるアスラポート・ダイニングの代表取締役会長を兼任していることもあり、当社取締役会としては、当社の株主の利益に最大限配慮するよう、慎重に検討を行いました。当社は、割当予定先に対して、発行価額について、算定時に最も近い時点の市場価格が、当社株式の現時点における公正な価格を算定するにあたって基礎とすべき価格であると考え、取締役会決議の直前日の当社株式の終値とすることを提案いたしました。これに対し、割当予定先からは、本件第三者割当増資に伴う希薄化率から一定のディスカウントを設定する旨の要望を受けました。当社は、割当予定先から受けたディスカウント要望に対し、上記にも記載したとおり、当社の業績動向、財務状況、株価動向、株式の希薄化、そしてアスラポート・ダイニングとの関係強化により期待される当社の企業価値の向上への貢献の影響等を改めて慎重に検討した上で、割当予定先と協議を重ねた結果、今回の資金調達を行い割当予定先との関係を更に強化することは、今後の当社グループの中長期的な業績拡大に寄与すると考えた結果、当該要望を一定程度受け入れた条件により発行価額を決定することが合理的であると判断いたしました。

また、当社監査等委員である取締役4名(会社法上の社外取締役4名)で構成される監査等委員会は、当該発行価額が割当予定先に特に有利でないことに係る適法性に関して、本件第三者割当増資の払込金額がディスカウント率に照らしても特に有利な金額には該当しないことに加え、本件第三者割当増資の意思決定過程において社内手続が適正に履践されているものと判断されることを理由に、異議がない旨を意見書で述べております。なお、当社監査等委員である取締役の中村敏夫は、平成29年6月29日までアスラポート・ダイニングの取締役を兼任していたため、意見表明はしておりません。

## (2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本件第三者割当増資により発行される株式数42,553,200株(議決権数42,553個)は、今回発行決議日時点(平成29年7月14日)時点の発行済株式総数136,925,670株(議決権数136,786個)で除した割合は、31.08%(議決権割合は31.11%)(小数点以下第3位を四捨五入)となり

ます。また、本件第三者割当増資の発行決議日である平成 29 年 7 月 14 日から 6 ヶ月以内である平成 29 年 3 月 27 日を割当日とする第三者割当による転換社債型新株予約権付社債の発行(以下「前回発行」といいます。)に伴う潜在株式数(新株予約権の全てが転換価額で行使された場合における交付株式総数)31,578,947 株(議決権数 31,578 個相当)を合計した 74,132,147 株(議決権数 74,132 個)は、前回発行決議日時点(平成 29 年 3 月 10 日)時点の発行済株式総数 136,925,670 株(議決権数 136,786 個)で除した割合は、54.14%(議決権割合は 54.19%)(小数点以下第 3 位を四捨五入)となりますが、上記「2. 募集の目的及び理由」で記載のとおり、本件第三者割当増資は当社グループの企業価値の向上に寄与するものであり、ひいては既存株主の皆様の利益向上に資することとなるため、本件第三者割当増資による発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的と判断いたしました。

## 7. 割当予定先の選定理由等

### (1) 割当予定先の概要

(1) 名 称	株式会社アスラポート・ダイニング ( 英文名 : Asrapport Dining Co., Ltd. )
(2) 所 在 地	東京都品川区西五反田一丁目 3 番 8 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 森下 将典
(4) 事 業 内 容	外食フランチャイズ本部の運営及び外食店舗の運営、食品製造及び小売、食料品の加工及び卸、グループの経営管理
(5) 資 本 金	2,910 百万円
(6) 設 立 年 月 日	平成 19 年 1 月 12 日
(7) 発 行 済 株 式 数	29,890,439 株
(8) 決 算 期	3 月 31 日
(9) 従 業 員 数	( 連結 ) 794 人
(10) 主 要 取 引 銀 行	株式会社東京スター銀行 他
(11) 大株主及び持株比率	HSI グローバル株式会社 35.61%
(12) 当事会社間の関係	
資 本 関 係	当該会社は当社株式 14,287,000 株(発行済株式総数に対する割合 10.43%)を保有しております。
人 的 関 係	当社の代表取締役社長の檜垣周作が当該会社の代表取締役会長を兼任しております。その他、当該会社の大株主である HSI グローバル株式会社と、その大株主である阪神酒販株式会社の代表取締役社長を兼任しております。

取引関係	当社と当該会社は平成 27 年 6 月 12 日に業務資本提携契約を締結しております。また、当社と当該会社は事務所の賃貸借取引があります。
関連当事者への当該状況	上記の資本関係、人的関係、取引関係があるため、当該会社は当社の関連当事者に該当します。

(13) 最近3年間の連結経営成績及び財政状態(単位:百万円)

決算期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
純資産	2,717	5,243	7,715
総資産	11,231	23,633	27,722
1株当たり純資産(円)	128.36	197.56	246.64
売上高	11,167	23,495	36,244
営業利益	700	817	1,078
経常利益	622	724	922
親会社株主に帰属する当期純利益	388	520	526
1株当たり当期純利益(円)	20.46	23.19	18.13
1株当たり配当金(円)	0	0	0

(注) 1. 割当予定先の概要については、平成 29 年 3 月 31 日現在の内容であります。

2. 割当予定先であるアスラポート・ダイニングは株式会社東京証券取引所 JASDAQ に上場しており、会社の履歴、役員、主要株主等について有価証券報告書等の法定開示書類において公表しております。これらに加え、アスラポート・ダイニングは、株式会社東京証券取引所に提出している「コーポレート・ガバナンス報告書」の中で、反社会的勢力との関係を一切遮断する旨の宣言をしております。以上から、当社は、割当予定先であるアスラポート・ダイニング、その役員及び主要株主が反社会的勢力とは一切関係がないものと判断しております。

(2) 割当予定先を選定した理由

当社が割当予定先としてアスラポート・ダイニングを選定した理由は、「2. 募集の目的及び理由」で記載のとおりであります。

(3) 割当予定先の保有方針

当社は割当予定先であるアスラポート・ダイニングから長期的に保有する方針である旨の意向を確認しております。なお、当社は、払込期日から2年以内に本件第三者割当増資により発行される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対

し書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は割当予定先であるアスラポート・ダイニングから自己資金で充当可能であると同っております。なお、当社は同社が平成 29 年 5 月 11 日付で公表した平成 29 年 3 月期決算短信に含まれる連結貸借対照表の中で、平成 29 年 3 月 31 日現在の現金及び現金同等物は 6,305 百万円と確認しております。また、同社が平成 29 年 6 月 30 日付で提出した有価証券報告書にて、同社の個別貸借対照表の中で、平成 29 年 3 月 31 日現在の現金及び預金が 2,499 百万円であることも確認しておりますため、本件第三者割当増資の払込みに必要かつ十分な現預金を有しているものと判断しております。

8. 募集後の大株主及び持株比率

募集前 (平成 29 年 3 月 31 日現在)		募集後	
株式会社田中文悟商店	10.69%	株式会社アスラポート・ダイニング	31.67%
株式会社アスラポート・ダイニング	10.43%	株式会社田中文悟商店	8.15%
BARCLAYS CAPITAL SECURITIES LIMITED	5.82%	BARCLAYS CAPITAL SECURITIES LIMITED	4.44%
株式会社ファミリーショップワタヤ	4.47%	株式会社ファミリーショップワタヤ	3.41%
株式会社 SBI 証券	2.24%	株式会社 SBI 証券	1.71%
富春 勇	1.96%	富春 勇	1.49%
日本証券金融株式会社	1.52%	日本証券金融株式会社	1.16%
楽天証券株式会社	1.36%	楽天証券株式会社	1.04%
敷島製パン株式会社	1.22%	敷島製パン株式会社	0.93%
山田 浩史	0.79%	山田 浩史	0.60%

(注) 1. 上記の割合は、小数点以下第 3 位を四捨五入して算出しております。

2. 募集後については、平成 29 年 3 月 31 日時点の発行済株式総数 136,925,670 株に、本件第三者割当増資により発行される 42,553,200 株を加えて算出しております。

9. 今後の見通し

本件第三者割当増資による平成 29 年 9 月期の当社連結業績への影響は軽微であると考えておりますが、今後の業績に重要な影響が見込まれる場合は速やかに公表いたします。

10. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本件第三者割当増資に付される株式数は 42,553,200 株 (議決権数 42,553 個) であり、今回



発行決議日時点(平成29年7月14日)時点の発行済株式総数136,925,670株(議決権数136,786個)で除した割合は、31.08%(議決権割合は31.11%)(小数点以下第3位を四捨五入)となります。また、本件第三者割当増資の発行決議日(平成29年7月14日)から6ヶ月以内である前回発行に伴う潜在株式数(新株予約権の全てが転換価額で行使された場合における交付株式総数)31,578,947株(議決権数31,578個相当)を合計した株式数は74,132,147株(議決権数74,132個)であり、前回発行決議日時点(平成29年3月10日)時点の発行済株式総数136,925,670株(議決権数136,786個)を分母とする希薄化率は54.14%(議決権の総数に対する割合は54.19%)に相当します。希薄化規模が25%以上であり、また、前回発行の転換社債型新株予約権付社債の普通株式への転換及び本件第三者割当増資により支配株主が異動することから、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条「第三者割当に係る遵守事項」により、経営者から一定程度独立した者による当該割当の必要性及び相当性に関する意見の入手又は当該割当に係る株主総会決議などによる意思確認のいずれかの手続きをとることとなっています。

そこで、当社は、本件第三者割当増資に関する決議を行った平成29年7月14日開催の当社取締役会に先立ち、監査等委員である社外取締役の土井充、香本明彦、宿利有紀子から、本件第三者割当増資の必要性及び相当性について客観的な意見を求めるため、本件に関する事項(新株発行の目的及び理由、資金調達の額、用途及び支出予定時期、発行条件、割当先の選定理由、増資後の株主構成及び持株比率、今後の業績への影響の見通しなど)について可能な限り詳細な説明を行いました。

その結果、監査等委員である社外取締役の土井充、香本明彦、宿利有紀子から、「以下のからまでに掲げる理由により、第三者割当による新株の発行は、必要性及び相当性が認められるものとする。」との意見を得ております。

#### 資金調達の必要性

資金調達の必要性について、経営陣取締役からなされた大要以下の説明に合理性があり、各資金用途の内訳についても不合理な点はないものと考えられる。

- ・当社グループ中期経営計画の「財務戦略」(有利子負債の削減及び資本増強)を推進するためには、既存の借入金を返済し、金融機関からの新たな借入れを行わない方向で資金繰りを安定化させることが必要であること
- ・当社グループ中期経営計画の「事業戦略」(各社(アスラポート・ダイニングを含む)の顧客の共有化、海外・インバウンドを見据えた価値訴求・新商品開発、商品高付加価値化ニーズへの対応強化等)については、盛田を中核とした食品類・酒類事業における各施策の推進を予定しているが、盛田の各工場については、経年による建物・設備の老朽化が顕著であり、数年前まで必要最低限の設備投資に留まっていた影響もあって、老朽化対応が引き続き急務となっていること(平成27年4月6日を割当日とした第2回新株予約権の発行によって調達した資金を各工場の設備投資に充てているが、修繕等の老朽

化対応を中心として、品質向上、省力化・合理化、生産効率の向上、衛生環境やセキュリティの向上等のため、更なる設備投資が必要な状況であること)

- ・当社グループ事業の季節変動(11月~12月に需要のピーク)に伴い、原材料の調達と売上債権回収時期のずれに起因して現預金残高が一時的に減少するという実態があり、今期についても、この時期の原材料調達のための資金が必要な状況であること

#### 発行条件の相当性

##### (1) 発行価額について

本件第三者割当増資の発行価額は、当社とアスラポート・ダイニングとの間での協議・交渉において、アスラポート・ダイニングから、当社グループの財務状況及び業績動向、アスラポート・ダイニングの債権者及び株主との関係等を理由になされたディスカウントの要請に対し、監査等委員会から出された再交渉の要請にも鑑みて更に交渉を重ねた結果、本件第三者割当増資に関する取締役会決議の直前日(平成29年7月13日)の株式会社東京証券取引所第二部市場における当社株式の終値50円を基に47円(ディスカウント率6.00%)と決定された(取締役会決議の直前日までの直近1ヶ月(平成29年6月14日から平成29年7月13日まで)の終値平均44円(円未満切捨て)からは6.82%のプレミアム(小数点第3位以下四捨五入)、直近3ヶ月(平成29年4月14日から平成29年7月13日まで)の終値平均44円(円未満切捨て)からは6.82%のプレミアム(小数点第3位以下四捨五入)、直近6ヶ月(平成29年1月13日から平成29年7月13日)の終値平均44円(円未満切捨て)からは6.82%のプレミアム(小数点第3位以下四捨五入))。同発行価額は、日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に適合しており、上記の決定経緯に鑑みても、会社法第199条第3項に規定されている特に有利な金額には該当しないものと考えられる。

##### (2) 割当予定先の相当性

アスラポート・ダイニングが割当先として相当である理由として、経営陣取締役からなされた大要以下の説明には合理性があるものと考えられる。

- ・割当予定先であるアスラポート・ダイニングは、食に特化した多角的な事業(外食(販売)事業、流通及び生産事業等)を営んでおり、当社とアスラポート・ダイニングは、平成27年6月に資本提携契約を締結して以降、両社グループのシナジーを積極的に追及していることから、同社を相手方として引き続き業務資本提携を推進することにより当社グループの収益性の向上が見込まれること

- ・同社は、本件第三者割当増資により取得した株式を原則として譲渡等しない旨を合意し、かつ、長期的に保有する方針である旨の意向を表明していること

#### 本件第三者割当増資による相当性

##### (1) 資金調達方法の相当性

資金調達の手法に関し、(i)借入及び社債等による資金調達については、新たな支払

利息の負担が財務基盤全体に及ぼす悪影響が大きいと見込まれ、また、「財務戦略」の有利子負債の削減及び資本増強の推進は、将来における機動的な資金調達や借入条件の向上にも繋がると考えられるとのことであり、(ii)公募増資については、十分な応募が集まらず機動的な調達ができない可能性や、浮動株の増加によって一時的に市場の需給関係が悪化し、他の既存株主の不利益に繋がる可能性があること等から、調達手段として第三者割当による株式発行を選択したことについては、合理性があると考えられる。

(2) 希薄化について

本件第三者割当増資により、既存株主の持株比率及び議決権数に比率に規模の大きい希薄化(持分ベースで54.14%、議決権ベースで54.19%)が生じる。監査等委員会は、希薄化の規模が大きいこと、並びに、本件第三者割当増資の結果アスラポート・ダイニングが保有することとなる議決権比率(潜在株式を勘案したベースで41.92%)及びこれによって同社が当社に対して有することとなる影響力の実質的な大きさに鑑み、他の既存株主の保護の観点から、アスラポート・ダイニングとの間で発行価額について再度の交渉を行うよう要請し、当社はディスカウント率を最小限にすべく更に交渉を重ねたとの報告を受けている。上記希薄化が既存株主に与える影響は否定できないものの、当社による資金調達の具体的な必要性、及び調達資金を用いて中長期経営計画を推進することが当社の企業価値及び株主価値の向上に寄与するとの判断には合理性が認められることから、本件第三者割当増資の規模は相当であると考えられる。

11. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績(連結)

	平成26年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期
連結売上高	25,102百万円	24,425百万円	23,849百万円
連結営業利益	431百万円	578百万円	652百万円
連結経常利益	50百万円	181百万円	239百万円
連結当期純利益	186百万円	77百万円	111百万円
1株当たり連結当期純利益	2.74円	0.83円	0.95円
1株当たり配当金	-	-	-
1株当たり連結純資産	49.44円	45.09円	44.28円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況(平成29年3月31日現在)

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	136,925,670株	100.00%

現時点における潜在株式数	36,396,947 株	26.58%
--------------	--------------	--------

発行済株式数に対する比率は、小数点以下第3位を切り捨てして算出しております。

### (3) 最近の株価の状況

#### 最近3年間の状況

	平成26年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期
始 値	52 円	48 円	44 円
高 値	56 円	107 円	57 円
安 値	42 円	35 円	31 円
終 値	48 円	44 円	40 円

#### 最近6か月間の状況

	平成29年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
始 値	39 円	42 円	43 円	45 円	46 円	42 円	43 円
高 値	48 円	45 円	44 円	60 円	48 円	46 円	52 円
安 値	39 円	41 円	38 円	43 円	41 円	40 円	42 円
終 値	43 円	43 円	41 円	50 円	42 円	43 円	50 円

平成29年7月は、平成29年7月13日までの株価を記載しております。

#### 発行決議日前営業日における株価

	平成29年7月13日
始 値	46 円
高 値	50 円
安 値	45 円
終 値	50 円

### (4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

#### 第三者割当による第1回新株予約権の発行

割当日	平成26年10月27日
発行新株予約権数	15,000 個 (新株予約権1個当たり1,000株)
発行価額	新株予約権1個当たり420円

発行時における 調達予定資金の額 (差引手取概算額)	696,300,000 円 (差引手取概算額: 691,300,000 円)
割当先	マッコーリー・バンク・リミテッド
募集時における 発行済株式数	68,004,520 株 (平成 26 年 3 月 31 日現在)
当該募集による 潜在株式数	15,000,000 株
現時点における 行使状況	全て権利行使済みです。
現時点における 調達した資金の額 (差引手取概算額)	581,850,000 円 (差引手取概算額: 576,850,000 円) (内訳) 新株予約権の発行による調達額: 6,300,000 円 新株予約権の行使による調達額: 575,550,000 円
発行時における 当初の資金使途	短期借入金の返済 400 百万円 原材料の調達 291 百万円
現時点における 充当状況	全額充当済みです。

### 第三者割当による第 2 回新株予約権の発行

割当日	平成 27 年 4 月 6 日
発行新株予約権数	25,000 個 (新株予約権 1 個当たり 1,000 株)
発行価額	新株予約権 1 個当たり 476 円
発行時における 調達予定資金の額 (差引手取概算額)	1,061,900,000 円 (差引手取概算額: 1,051,900,000 円)
割当先	マッコーリー・バンク・リミテッド
募集時における 発行済株式数	83,004,520 株 (平成 27 年 3 月 19 日現在)
当該募集による 潜在株式数	25,000,000 株
現時点における 行使状況	全て権利行使済みです。

現時点における 調達した資金の額 (差引手取概算額)	886,970,000 円 (差引手取概算額: 876,970,000 円) (内訳) 新株予約権の発行による調達額: 11,900,000 円 新株予約権の行使による調達額: 875,070,000 円
発行時における 当初の資金使途	当社子会社である盛田(株)の小豆島工場及び小鈴谷工場への設備投資費用(合計 850 百万円)並びに小豆島工場に関する防潮堤工事の費用(200 百万円)
現時点における 充当状況	主に当社子会社である盛田(株)の小豆島工場や小鈴谷工場への設備投資費用 631 百万円に充当しております。残りにつきましては、当期の盛田(株)の設備投資費用に充当する予定であります。

#### 第三者割当による新株式の発行

払込日	平成 27 年 6 月 29 日
払込金額の総額 (差引手取概算額)	300,020,000 円 (差引手取概算額: 295,520,000 円)
発行価額	1 株につき 35 円
募集時における 発行済株式数	99,304,520 株 (平成 27 年 6 月 11 日現在)
当該募集による 発行新株式数	8,572,000 株
募集後における 発行済株式数	107,876,520 株
割当先	株式会社アスラポート・ダイニング
発行時における 当初の資金使途	国内及び海外向けペットボトルやダンボールの容器包装材料及び PB 製品の主原料の大豆などの原材料の調達
発行時における 支出予定時期	平成 27 年 7 月 ~ 9 月
現時点における 充当状況	全額充当済です。

#### 第三者割当による新株式の発行

払込日	平成 28 年 7 月 25 日
払込金額の総額	200,025,000 円 (差引手取概算額: 198,025,000 円)

(差引手取概算額)	
発行価額	1株につき35円
募集時における発行済株式数	116,576,520株(平成28年3月31日現在)
当該募集による発行新株式数	5,715,000株
募集後における発行済株式数	122,291,520株
割当先	株式会社アスラポート・ダイニング
発行時における当初の資金使途	製品の主原料である大豆及び小麦の調達
発行時における支出予定時期	平成28年8月～11月
現時点における充当状況	全額充当済です。

### 第三者割当による転換社債型新株予約権付社債の発行

割当日	平成29年3月27日
発行新株予約権数	24個
社債及び新株予約権の発行価額	社債の払込金額：1,200,000,000円(本社債の金額100円につき金100円) 新株予約権の払込金額：無償
転換価額	38円
利率及び償還期日	利率：0.00% 償還期日：平成35年3月26日
発行時における調達資金の額(差引手取概算額)	1,200,000,000円(差引手取概算額：1,195,000,000円)
割当先	株式会社アスラポート・ダイニング
募集時における発行済株式数	136,925,670株(平成29年3月1日現在)
当該募集による潜在株式数	31,578,947株
現時点における	ございません。

行使状況	
発行時における 当初の資金使途	M&A 資金 1,195 百万円
現時点における 充当状況	当社子会社が M&A を行った際に、当社は当社子会社へ貸付することで当該株式 取得資金に 801 百万円充当いたしました。残りにつきましても、同様に充当を する予定であります。

## 12. 発行要項

- (1) 募集株式の数 当社普通株式 42,553,200 株
- (2) 払込金額 1 株につき金 47 円
- (3) 払込金額の総額 2,000,000,400 円
- (4) 増加する資本金の額 1,000,000,200 円 (1 株につき 23.50 円)
- (5) 増加する資本準備金の額 1,000,000,200 円 (1 株につき 23.50 円)
- (6) 募集方法並びに割当予定先及び割当株式数  
第三者割当によりアスラポート・ダイニングに 42,553,200 株を割り当てる。
- (7) 申込期日 平成 29 年 8 月 1 日
- (8) 払込期日 平成 29 年 8 月 1 日
- (9) その他 上記各号については、金融商品取引法に基づく届出の効力発生を条件とします。

### . 主要株主の異動について

平成 29 年 8 月 1 日付で、以下のとおり、当社の主要株主である筆頭株主の異動及びその他の関係会社となる主要株主の異動が見込まれますので、お知らせいたします。

#### 1. 異動が生じる経緯について

アスラポート・ダイニングは「 . 第三者割当による新株式発行について 1. 募集の概要」のとおり、平成 29 年 8 月 1 日付で当社議決権総数の 30%超を保有することから、その他の関係会社となる見込みとなります。また、これに伴い、株式会社田中文字悟商店(以下「田中文字悟商店」といいます。)は当社議決権総数の 10%を下回ることになるため、主要株主及び主要株主である筆頭株主では無くなります。

#### 2. 異動する株主の概要

アスラポート・ダイニングについては「 . 第三者割当による新株式発行について 7. 割当予定先の選定理由等 (1) 割当予定先の概要」をご参照ください。田中文字悟商店については以下のとおりです。



名称	株式会社田中文悟商店
本店所在地	神奈川県横浜市金沢区東朝比奈一丁目 61 番 1 - 602 号
事業内容	飲料の製造・販売
資本金	50 万円
代表者役職・氏名	代表取締役 田中 文悟
当事会社間の関係	当社の取締役である田中文悟が、同社の代表取締役を務めております。

3. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数(所有株式数)及び総株主の議決権の数に対する割合

・アスレポート・ダイニング

	属性	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の数に 対する割合( )	大株主 順位
異動前 (平成 29 年 7 月 14 日現在)	主要株主	14,287 個 (14,287,000 株)	10.44%	第 2 位
異動後	その他の関係会社	56,840 個 (56,840,200 株)	31.69%	第 1 位

・田中文悟商店

	属性	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の数に 対する割合( )	大株主 順位
異動前 (平成 29 年 7 月 14 日現在)	主要株主	14,634 個 (14,634,150 株)	10.70%	第 1 位
異動後		14,634 個 (14,634,150 株)	8.16%	第 2 位

( ) 議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数は 47,887 株です。また、平成 29 年 3 月 31 日時点の発行済株式総数 136,925,670 株に、本件第三者割当増資により発行される 42,553,200 株を加えて算出しております。

4. 今後の見通し

「 . 第三者割当による新株式発行について 9. 今後の見通し」をご参照ください。

以 上